

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ラオス】

担当講師	萩生田 幸男（高和電気工業株式会社）
実施期間	2024年11月2日（土）、11月4日（月）～11月8日（金）
実施場所	ラオス ビエンチャン市 技能開発院(SDI)
研修	3級職業訓練技法研修(VTM)、2級技能評価者講習(SAT)
実施職種	配電盤・制御盤組立て作業 3級、2級

2024年12月

結果概要

1. 対象者数：3 級 VTM 受講者数 9 名 / 修了者数 7 名
 2 級 SAT 受講者数 9 名 / 修了者数 8 名

2. 日程

日時	指導内容
11 月 2 日 (土) 8:30~16:30 (全て現地時間) (VTM)	<p><3 級職業訓練技法研修(VTM)></p> <p>【オリエンテーション】</p> <p>① 研修 (VTM) 開始の挨拶 (押手、菖生田)</p> <p>② 受講者名簿を基に受講者チェック (受講者 9 名) (途中 2 名欠席)</p> <p>③ 研修スケジュール確認</p> <p>【材料・器材・パネル・工具等確認】</p> <p>3 級実技試験課題及び、3 級 VTM 準備一覧表にて現物チェック確認し、不足分を準備した。</p> <p>【3 級組立て方法訓練】</p> <p>3 級実技試験課題、3 級手順書を基に、組立て作業訓練 (ケガキ作業、穴明け作業、器具取付け作業) を TWI-JI 手法で実際にやって見せて指導実施した。</p>
11 月 4 日 (月) 8:30~16:30 (VTM)	<p>【開講式】</p> <p>技能開発院(SDI)において関係者 (SDI 副所長及び関係者、労働省、検定課長、受講者等出席) で開講式を挙行了した。</p> <p>【3 級配線方法訓練】</p> <p>3 級実技試験課題、3 級手順書、VTM 絶縁サヤ付圧着作業手順書を基に、配線作業訓練 (器具接点構成確認、線有り接続図作成、絶縁サヤ付圧着方法、差し込み接続方法、束線等) を TWI-JI 手法で実際にやって見せて指導実施した。</p>
11 月 5 日 (火) 8:30~16:30 (VTM)	<p>【3 級配線方法訓練】</p> <p>昨日に続き 3 級実技試験課題、3 級手順書、VTM 絶縁サヤ付圧着作業手順書を基に、配線作業訓練 (器具接点構成確認、線有り接続図作成、絶縁サヤ付圧着方法、差し込み接続方法、束線等) を実施した。</p> <p>【3 級チェック方法訓練】</p> <p>清掃方法、各種設定方法等を指導実施した。</p> <p>【3 級配線チェック方法訓練】</p> <p>シーケンス配線チェック方法を実際にやりながら指導実施した。</p> <p>【VTM 意見交換会】</p> <p>ラオスでは初めての取組みで皆さん真剣に取り組み、穴明け作業では日本から持ち込んだキリで全員穴明け作業実施。配線の配線ポイント、修正方法も実施し良い経験になったと好評を得た。</p> <p>【受講者 & 上長アンケート作成】</p> <p>QR コードを読み取り、FORMS にて各自で実施した。</p>

<p>11月6日(水) 8:00~16:30 (SAT)</p>	<p><2級技能評価講習(SAT)> 【技能評価者事前講習解説】 2級のSATとして技能評価者事前講習資料にて、基本となる技能評価者の職務基準及び職務遂行能力、技能評価トライアル運営要領、実施、採点等、ポイントに沿って説明した。</p> <p>【等級別実技試験問題のポイント解説】 3級と2級課題の相違点、難易点について説明した。(1級も参考に)</p> <p>【2級実技試験問題解説】 3級からの変更点、難易点、ポイント及び課題2について説明した。</p> <p>【2級作業手順解説】 3級からの変更点、難易点、ポイントについて説明した。</p> <p>【2級実技試験実施要領解説】 3級からの変更点、難易点、ポイント及び動作試験方法等について説明した。</p>
<p>11月7日(木) 8:30~16:30 (SAT)</p>	<p>【2級実技試験実施要領解説】 昨日の続きでポイントについて説明した。</p> <p>【2級実技試験採点基準解説】 3級からの変更点、難易点、ポイントについて説明した。</p> <p>【2級実技試験採点要領解説】 3級からの変更点、難易点、ポイントについて説明した。</p> <p>【2級実技試験採点方法研修】 2級SET採点訓練として、3級VTMで作成した実技課題を基に実施した。修正箇所等はその場で指導を実施した。</p>
<p>11月8日(金) 8:30~16:00 (SAT)</p>	<p>【2級実技試験採点方法研修】 昨日の続きから実施した。</p> <p>【技能評価者職務チェックシート解説】 改めて再度、各役割の職務チェックシートを解説した。</p> <p>【反省会、意見交換会実施】 受講者と全員と意見交換会を行い、VTMで学んだ事を今後の指導に活かして行きたい、また日本での本邦研修を開催して貰いたい等の要望もあり、この職種への期待度が大きい事を感じた。</p> <p>【受講者&上長アンケート作成】 QRコードを読み取り、FORMSにて各自で実施した。</p> <p>【閉講式】 技能開発院(SDI)において関係者(SDI副所長出席)で閉講式を挙行了た。</p>



開講式



3 級 VTM 穴明け作業実演



3 級 VTM 穴明け作業訓練



3 級 VTM 配線作業実演



3 級 VTM 配線作業訓練



3 級 VTM 完成品



2 級 SAT 講習



2 級 SAT 採点方法研修



閉講式

3. 講評

今年度のラオス研修は、昨年度の研修等の反省課題から関係者と協議検討した結果、評価者の育成は順調に出来てきている（昨年、3級の技能評価者認定の合格者を6名輩出）が、肝心な実技課題作成の技能力・技術力があまり向上していないことから3級のVTM（職業訓練技法研修）をラオスで初めて実施した。現地にて工具、材料等制限がある中でTWI-JIの仕事の教え方4段階法の手法により効率良く指導する事ができた。後半3日間は、初めて2級のSAT（技能評価者講習）を実施し、3級の相違点をポイントに講習を実施して受講者の理解を頂いた。

今回も研修が出来た事はとても有意義であり、関係者のご支援とご協力を賜り大変感謝している。受講者は真面目に一生懸命取り組んで頂き3級VTM・2級SATを理解し習得して頂いた。

4. アンケート結果

<VTM>

◆受講者 9 名（回答者 9 名）（※5 段階評価）

満足度： 5: 大変満足=7 人 4: 満足=2 人
役立ち度： 5: 大変役立つ=9 人
継続性： 5: 是非継続すべき=9 人

【有意義なプログラムは何だったか】

- ・ 技能検定委員としての役割
- ・ パネルの組立て作業
- ・ 組立て、配線、チェック及び採点
- ・ 研修内容全て
- ・ 実践訓練
- ・ 配線技術（2）
- ・ 本研修により、更に理解を深めることが出来た。

【改善点・提案】

- ・ 研修の継続（3）
- ・ 新しい内容の追加希望
- ・ 2 級の VTM
- ・ 日本での研修
- ・ 更なる技能・技術の習得
- ・ この研修は、継続的な評価者の育成のため、非常に重要なものであるが、既に予定されていた会議に出席する必要があるため、全ての研修日程に参加出来なかった。もし、もっと早い段階で研修日程を知らせて頂いていたら、日程の調整が出来ていたかと思う。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 空調設備
- ・ 電気工学、電動モーターコイルの巻き方、制御回路の設計
- ・ 本研修 2 級 VTM（2）
- ・ PLC 制御
- ・ 電気、自動車修理
- ・ 産業用電気制御
- ・ 電気工事

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）（※5 段階評価）

継続性： 5: 是非継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・ 持続的な技能検定試験を管理・推進するため、技術面だけでなく運営面や法令・政策の策定等を学ぶために、本邦研修と視察を希望する。
- ・ 民間と連携した形での技能検定試験の研修の実施を希望する。
- ・ 学科問題及び実技問題の作成に関する研修の実施を希望する。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 受講者が、採点の重要なポイントや効率・効果的な実践（組み立て・配線作業）をより理解するために、VTM 研修は非常に重要であると考えている。専門家から移転された技能やノウハウは、専門家が過去に世界的な技能競技大会の参加や、長い実務経験から得たもので、と

ても貴重なものである。

<SAT>

◆受講者 9 名（回答者 9 名）（※5 段階評価）

満足度： 5: 大変満足=7 人 4: 満足=2 人
役立ち度： 5: 大変役立つ=9 人
継続性： 5: 是非継続すべき=8 人 4: 継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・ 日本での研修や視察の実施をお願いしたい。(5)
- ・ 本研修を継続して実施してほしい。
- ・ 採点評価の研修は多くの詳細作業があり、受講者がより深く理解できるように、訓練時間の拡大を希望する。
- ・ 研修期間を長くしてほしい。(2)

【意見・感想・実施希望】

- ・ 電気工学の職種
- ・ 本研修（2 級）の継続希望。(5)
- ・ 電気制御システム PLC
- ・ 電気の職種
- ・ 研修期間を長くしてほしい。

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続性： 5: 是非継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・ 年度初め、年度中に研修を実施することを提案したい。年度後半の研修実施となると、年度末の取りまとめなどがあるため、一部の受講者が継続的に研修に参加出来ない場合もある。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 左官工事及び組積（レンガ積み）工事の職種